国指定名勝 三溪園
記者発表資料

2025 年（令和 7 ）8 月 6 日
公益財団法人 三溪園保勝会

文化財でつくる、夏の思い出

横浜・三溪園 「鶴翔閣」特別公開

2025 年 8 月 9 日(土)～15 日(金)

国指定名勝「三溪園」（所在地：横浜市中区）では、2025 年 8 月 9 日(土)から 15 日(金)まで、横浜市指定有形文化財「鶴翔閣（かくしょうかく）」の内部を特別公開します。また、体験イベントとして「瓦の拓本づくり」を無料開催します。

床面積 950 ㎡を誇る鶴翔閣は、1902（明治 35）年に創設者・原三溪の住まいとして建てられました。鶴翔閣という名称は、鶴が飛翔する印象の外観に由来するといわれています。戦争の激化に伴い改変されたのち、2000（平成 12）年に創建当初の姿に復原されました。

建物内は簡素なつくりで、家族と暮らした棟や蒐集（しゅうしゅう）した美術品などを納めていた倉に加え、日本画家の横山大観や前田青邨（せいそん）、哲学者の和辻哲郎（わつじてつろう）など多くの芸術家や文化人が集い名作が生み出された、歴史的にも貴重な棟があります。

現在は貸出施設としてウェディング等に利用されている、通常内部非公開の建物内をじっくりと見学できる貴重な機会です。緑豊かな日本庭園で、横浜の一実業家の、昔の暮らしぶりに触れるひとときをお楽しみください。

横浜市指定有形文化財「鶴翔閣」特別公開

日程 ｜ 2025年 8 月 9 日(土)～15日(金)
時間 ｜ 9：00～16：00
料金 ｜ 無料（入園料別）

2025 年（令和 7 ） 8 月 6 日
公益財団法人 三溪園保勝会

無料体験イベント「瓦の拓本をとってみよう」

鶴翔閣公開期間中の 2 日間限定で、瓦に施された模様や文字を和紙に写し取るワークショップを開催します。園内の歴史的建造物に使われていた瓦を手に取り、間近にご覧いただきながら伝統的な転写技術を体験することができます。ボランティアがお手伝いしますので、小さなお子様でも気軽に参加いただけます。

日程 ｜ 2025 年 8 月 9 日(土), 10 日(日)
時間 ｜ 10：00〜15：30（所要時間約15分）
会場 ｜ 鶴翔閣 茶の間棟
料金 ｜ 無料（入園料別）
申込 ｜ 予約不要です。当日、会場へお越しください。
なお、材料がなくなり次第、終了となります。
主催 ｜ 公益財団法人三溪園保勝会

三溪園について

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家・原三溪によって創られ、1906 年（明治 39）5 月 1 日に一般公開されました。約 17.5ha（東京ドーム約 3.7 個分）に及ぶ園内には、廃仏毀釈などによる荒廃から守るため、京都や鎌倉などから移築された歴史的価値の高い建造物が巧みに配置されており、古建築と自然が調和した四季折々の景色が楽しめる日本庭園です。開園当初は「遊覧御随意」を掲げ外苑を 24 時間無料開放するなど、「美しいものはみんなで一緒に楽しむもの」という原三溪の想いが反映されています。原三溪の存命中は新進芸術家の育成と支援の場ともなり、横山大観、下村観山、前田青邨らを輩出するなど、日本美術への貢献も評価されています。戦災により大きな被害をうけ、1953 年（昭和 28）に原家から横浜市に譲渡されるのを機に財団法人三溪園保勝会が設立され、現在に至ります。2007 年（平成 19）には国の名勝に指定され、現在園内にある 17 棟の古建築のうち 10 棟が重要文化財、3 棟が横浜市指定有形文化財に指定されています。

原三溪について

原 三溪（本名 富太郎）＜1868（慶応 4）年 - 1939（昭和 14）年＞
岐阜県厚見郡佐波村（現在の岐阜県岐阜市柳津町）で代々に渡り、庄屋をつとめた青木家の長男として生まれる。幼少の頃から絵・漢学・詩文を学び、1885（明治 18）年、東京専門学校（現在の早稲田大学）に入学、政治・法律を学ぶ。1888（明治 21）年頃に跡見学校の助教師になり、1891（明治 24）年、原善三郎の孫娘、屋寿と結婚し原家に入籍。原家の家業を継ぐと、経営の近代化と国際化に力を入れ、実業家として成功を収める。住まいを本牧・三之谷へ移すと古建築の移築を開始し、1906（明治 39）年、三溪園を無料開園。1923（大正 12）年の関東大震災後は、荒廃した横浜の復興に力を注ぐ。三溪自身も書画をたしなみ、その作品の一部は、園内の三溪記念館に収蔵されている。

2025 年（令和 7 ） 8 月 6 日
公益財団法人 三溪園保勝会

施設概要

施設名	三溪園(さんけいえん)
運 営	公益財団法人三溪園保勝会
所在地	〒231-0824　神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1
連絡先	TEL 045-621-0635
公式 HP	https://www.sankeien.or.jp
Instagram	https://www.instagram.com/sankeien_garden
X	https://twitter.com/HSankeien
入園料	大人 900 円／小中学生 200 円 横浜市内在住の 65 歳以上 700 円（本人確認書類の提示が必要）
開園時間	9：00～17：00（最終入園 16：30）
アクセス	JR 根岸線根岸駅から市営バスで 10 分「本牧」下車、徒歩 10 分 横浜駅東口から市営バスで 40 分「三溪園入口」下車、徒歩 5 分

本リリースに関する報道関係者からのお問合せ

公益財団法人三溪園保勝会 企画広報課　高橋
TEL：045-621-0635 / FAX：045-621-6343
MAIL：websupport@sankeien.or.jp